

令和 7 年度 学校評価 自己評価書 (3 学期)

1 学校の重点目標

1 授業力向上による確かな学力の定着	2 心に届く生徒指導の充実	3 たくましい体づくり	4 小中高連携の強化	5 開かれた学校作りの推進	6 業務改善の推進
--------------------	---------------	-------------	------------	---------------	-----------

2 課題と改善策 (※評価 1～4)

(1) 教育目標について

具体目標 (校訓)	評価の観点	職員
ア 考える人 (英知)	めざす生徒像	2.9
イ 心豊かな人 (情操)	めざす学校像	3.0
ウ たくましい人 (健康)	めざす教師像	3.0

(2) 実践 5 項目について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 基本的な生活態度の定着	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に個別最適な学びと協働的な学びの実現を図るべく生徒が ICT 機器を有効に活用できる授業を推進する。(タブレットの持ち帰りの推進) 生徒会が中心となってあいさつの励行と無言清掃について具体的に取り組む。
イ 学力の向上	2.8	
ウ 勤労、協調の精神の高揚	2.6	
エ 礼儀と正しい言葉づかい	3.1	
オ 環境の整備、美化	2.6	

(3) 学年・学級経営について

	評価の観点	職員	評価結果と改善方策
学年経営	ア 学級目標の具体化・実践化	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員の学校行事やへの参画を進めることで、本校の特色ある教育活動についてより幅広く周知することが可能となってきた。(生徒会と語る会や避難訓練の講評活動などを実践)
	イ 学年の連携・一貫性		
	ウ 他学年との連携		
	エ 保護者との相互理解、連携		
学級経営	ア 学級目標の適正化	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導及び登校支援サポートについて、担任と副担任が連携して情報の共有を図るとともに、新規の不登校が出ない取り組みを考えた学級編成等を実践する。
	イ 学級目標の具体化・実践化		
	ウ 学習意欲向上の配慮		
	エ 学級内相互の信頼関係		

(4) 努力点について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 人権同和教育の推進	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育を学校経営の基盤としていることから、全教育活動を通じて人権教育の大切さを継続していきたい。 生徒指導及び登校支援に係る委員会で個に応じた具体的な方策を確認する。 特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育に係る研修や体制を見直し、より効果的な教育実践を図っていきたい。 ICT 機器を使った業務改善と教育課程編成において通知表 2 期制を導入したことで、保護者連携と業務改善をさらに進めていきたい。
イ 生徒指導の充実・人間力の向上	3.1	
ウ 学習指導の充実	2.9	
エ 特別支援教育の充実	2.6	
オ 道徳教育の充実	3.1	
イ 進路指導の充実	2.6	
キ 特別活動の充実	2.8	
ク 保健・安全指導の充実	3.1	
ケ 学級経営の充実	3.0	
コ 教育環境の整備	2.9	
サ 教職員の資質向上等	2.9	
シ 家庭・地域との連携	2.8	

3 次年度に向けての取組

(1) 教科指導について

CBT 調査の分析、検証をもとにした各教科でのアウトプットを取り入れた授業スタイルを構築させ、学力向上について全職員が課題意識をもって取り組む研修の手立てを講じる。

(2) 生徒指導について

生徒指導及び登校支援サポート会議を中心に、生徒に対する具体的な手立てを検討・実践するとともに、関係機関との更なる連携を通して、個に応じた取組みを推進する。